

令和2年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：6月24日（水）午後5時～6時

場 所：笠間ショッピングセンターポレポレシティ

出席者：24名（途中退席含む）

《新型コロナウイルス感染症に関わる市の対応や事業の紹介後の意見交換》

1 ドライブスルー型のPCR検査について

【意見等】茨城新聞で、龍ヶ崎市と取手市でドライブスルー型のPCR検査を実施すると載っていたが、笠間市として検討しているのか。

【回答】PCR検査については、これまで保健所が中心に行っています。笠間市が単独でドライブスルー型の検査を行うということは、医師や看護師の確保等の問題があり難しい状況です。水戸市は中核市として保健所を持っているので、笠間市、大洗町、城里町、小美玉市、茨城町など県中央保健所管内の医師会と一緒に、どこか1箇所に検査場を設置して行政も一緒に行うという仕組みづくりを検討しているところです。第2波が来た場合に備えて対応をしっかりと行っていく予定です。

2 コロナウイルス感染症の支援策について

【意見等】10万円の特別定額給付金はありがたかったが、期限付きの商品券でも良かったのではないかと。今後支援策を検討する際には、商品券も検討してもらいたい。

【回答】各団体の方と意見交換をした際に、商品券の発行ができないかという話は、商工会からもありました。市でも今後、第2・第3弾の経済対策を行っていく予定です。商品券という形になるかは分かりませんが、何が一番市民の方のためになるのかということを考え、消費喚起を行ってまいります。

3 特別定額給付金について

【意見等】定額給付金は、支給までの流れは国で決めたのか。給付率が現在約97%ということだが、残りの3%はどのような人がいるのか。中には申請したくても出来ない人もいないのか。

【回答】国が市町村に給付のやり方を任せる形になったので、自治体ごとに給付の開始が異なっていたり、給付率にも差がでたりしています。事務経費については国が負担しています。給付の残り3%は、件数としては1,000件ほどです。8月18日が締め切りなので、その1か月くらい前から、申請がまだの方に対して連絡を取り、意思確認をとって行く予定です。申請をしないという方も中にはいますので、意思を確認しながらできるだけ多くの方に給付金が届くようにしていきたいと考えています。

4 学芸員について

【意見等】益子町と焼き物のつながりで日本遺産に認定になったということだが、今後市に学芸員を置く予定はあるか。

【回答】現在市には、焼き物に限らず笠間の歴史を専門に扱う学芸員が2名います。

5 市の申請用紙について

【意見等】税金の納付書や固定資産税などの様式や用紙の大きさがバラバラで、このところ毎年のように変わっている。業者の変更等の理由があるかもしれないが、保存しづらいのである程度統一して、頻繁に変えないでほしい。

【回答】国や県が決めた様式の場合もありますが、市の様式については、今後検討していきたいと思います。

6 笠間駅南口やサイクリングロードの計画について

【意見等】笠間駅南口や酒沼川のサイクリングロードの計画については現在どのようなになっているか。

【回答】笠間駅南口は、現在のところ事業実施の予定はありません。サイクリングロードについては、話題にあがったことはありましたが、計画には至っておりません。

7 笠間地区の活性化について

【意見等】合併してから友部地区に人口が集まって、笠間地区には何もなくなってしまふような気がする。活気がなくなっているのので、なんとか活性化してほしい。

【回答】友部地区と笠間地区では地理的条件が違うので、笠間地区は観光を中心として、道の駅などの公共施設を整備しながら、外からのお客さんを呼んで活性化を図っていければと考えています。

以上